

「JA熊本うき」丸田組合長、「宇城地区国営事業推進委員会」右山委員長と営農推進に向けた意見交換を実施！

令和6年2月6日

宇城農地整備事業所は、令和6年1月18日（木）に宇城市の「JA熊本うき」において、「JA熊本うき」丸田組合長、「宇城地区国営事業推進委員会」右山委員長と意見交換（第3回）を行いました。

今回は、事業所より事業の実施状況、「JA熊本うき」よりカンントリーエレベータの統合に向けた検討状況が説明され、地域の農業振興と担い手不足、高齢化などの地域の課題解決に向けた意見交換を行いました。

事業の進捗に応じ、ほ場は順次、大区画化と汎用化が図られ、新たな営農として「麦」や「露地野菜」の栽培が可能となります。一方では、農業従事者の高齢化や減少が進んでいます。儲かる農業の実現には、何を作り、どこに、どのように出荷するのか、担い手への農地の利用集積をどのように進めて行くのかが目の前の課題です。課題解決に向け連携して進めて参ります。

～意見交換の様子～



左から、右山委員長、島田所長、
丸田組合長、登常務



「JA熊本うき」における
意見交換の様子

ほ場整備後の
作付け状況



水稻（南豊崎）



ブロッコリー（浅川）